

はこだて高等教育機関 合同研究発表会



友人や家族と一緒に、
進路を考えるきっかけに
してみませんか？

2015
11/14
sat
12:00 ~ 16:00

今、函館で
学べることが
見えてくる



先輩たちと
ふれあう
チャンス



会場：函館市青年センター

函館市千代台町27番5号

ブースセッション 12:00～16:00

ステージセッション 14:00～15:30

表彰式・交流会 17:00～18:30

街が僕らのアカデミア

函館市内にある8つの大学・短大・高専では、学生・教員らが持つ「体験」「発想」「探求心」から生まれる様々な研究がそれぞれのキャンパスで進行中です。これらの一端を市民の皆様方・地元企業の皆様方にわかりやすくご披露し、また各研究テーマの協力・連携の可能性を探るべく一同に集結します。

当日はブースやステージでの発表などを通して、ここ函館を舞台に日々繰り広げられている研究活動に触れていただければと存じます。また中高生の皆さんにも今後の進路決定の参考に、先輩たちとのコミュニケーションの機会にさせていただきたいと思っております。

スタンプラリーなど楽しい企画も満載。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

主催：キャンパス・コンソーシアム函館

公立はこだて未来大学／函館大谷短期大学／函館工業高等専門学校／函館大学／函館短期大学

北海道教育大学函館校／北海道大学大学院水産科学研究院・水産学部／ロシア極東連邦総合大学函館校／函館市

後援：北海道教育庁渡島教育局



パネル展示や実演・解説

パネル展示を前に各種のデモンストレーションや解説などを行います。

1 共同研究 未来大・北教大 合同チーム Wataridori Project・ゲーム・デ・エデュケーション

大学生による国際協力と研究開発について

アフリカのウガンダで、教育を満足に受けてない女性や子供たちのための自立支援や IT によるコンテンツ開発を行いました。滞在中の体験談と研究開発の成果について発表します。ぜひお越しください。

○チーム代表：岡崎航
○チーム員：西谷謙吾・岩井克之・奥山凌・園田康記・沼山翔

4 未来大 チーム フィールドから創る地域・社会のための スウィフトなアプリ開発 医療系チーム

高齢者とその家族の認知症対策を支援するアプリの開発

私たちは多くの人が抱く認知症の不安を解消するために、認知症対策を支援するためのアプリ開発を行っています。今年の前半に作成した iPad アプリ「認知症サポーターガイドブック」と、現在取り組んでいる iPad アプリを中心に発表します。デモの展示も行いますので、ぜひお越しください。

○チーム代表：佐藤孝大
○チーム員：泉田和佳奈・小山峻夫・高橋佳那子・湯浅将真

7 未来大 チーム ミライケータイププロジェクト

"出かける"をデザインする近未来アプリ

私たちは「未来を想定したサービスを作る」をコンセプトにスマートフォンアプリの提案・開発を行っています。車いす利用者のためのルート案内アプリ「クルちゃん」と AR を用いた観光客向けリアルタイム感想共有アプリ「Tourity+」のデモを展示しますので、ぜひお越しください。

○チーム代表：西尾洋輔
○チーム員：牧野孝史・倉聖美・下野敬輔・阪本宏輔・清水俊希・長谷川麻美・六平豊・横山達也・武安裕輔・木村繁基・高畑孝輝

10 未来大 チーム 高度 ICT 演習観光系 おさかな日和班

北海道の魚介類の魅力を伝えるアプリ「おさかな日和」

私たちは、北海道庁と北海道ぎょれんのデータを使用し、北海道の魚介類と料理レシピが閲覧できる iPhone アプリ「おさかな日和」の開発を行っています。現在、新機能である「料理モード」の開発を行っています。アプリのデモ展示と活動内容を紹介しますので、ぜひ見に来てください！

○チーム代表：似内勇太
○チーム員：加藤武文・松田隼士・熊谷優斗・西尾洋輔・亀谷浩也・和田周・佐藤碧

13 未来大 チーム 高度 ICT 演習海洋系 - 大阪湾 -

ICT で作る新しい海のカタチ

私たちは、大阪湾で船舶が安全かつ効率的に航行できるように支援するタブレットアプリの開発を行っています。港内での無線通信業務を支援するシステムと、航行の妨げとなる障害物の位置を可視化するシステムの 2 つを開発しています。当日は開発したアプリを用意しますので、是非ご覧ください。

○チーム代表：宮井和輝
○チーム員：齋藤創・諸原聖・中進吾・長谷川麻美・矢野颯太・武田涼太郎

2 未来大 チーム LSP (Location Services Project) team AR

スマートフォンによる AR 技術を用いたデジタル積み木

このプロジェクトでは、位置情報を利用して「人を活動的にさせるデジタルサービス」の実現を目指しています。そのために、AR 技術を利用しスマートフォン上で楽しめるデジタル積み木を提案し、プロトタイプ開発に取り組んでいます。

○チーム代表：笠井康平
○チーム員：堀井亮史・小関大河・河村拓真・村山愛葉

5 未来大 チーム フィールドから創る地域・社会のための スウィフトなアプリ開発 教育系チーム

プログラミング学習支援システム

私たちは、プログラミング初心者の方がプログラミングを分かりやすく学ぶことができるように支援する活動を行っています。ブース発表では、これまでの活動の流れと開発しているシステムについて発表します。ぜひお越しください。

○チーム代表：中進吾
○チーム員：熊谷優斗・畠勢也・新保遥平・矢吹漢悟

8 未来大 チーム 高度 ICT 演習観光系はこだて Map+ 班

函館のまちあるきを支援するアプリ「はこだて Map+」の開発

私たちは LOD という仕組みを利用して地域情報の公開を促進し、地域活性化に貢献することを目的として活動しています。観光まちあるき iPhone アプリ「はこだて Map+」の外国人旅行者向けアプリと、Android アプリの開発に取り組んでいます。デモを展示しているので、ぜひお越し下さい！

○チーム代表：吉田匡孝
○チーム員：前田実優・山田亜美・阿部稿作・十時英人・佐藤孝大・手塚奈央

11 未来大 チーム 高度 ICT 演習観光系はこウォーク班

はこウォーク — ヘルスツーリズム支援アプリの開発 —

私たちは「函館の景観を楽しみながら歩くことで、ヘルスケアも行えるアプリ」をコンセプトに「はこウォーク」というウォーキングアプリを開発しています。はこウォークには実際に歩いた距離・歩数・カロリー・時間を計測しアプリ内で表示する機能や、歩いた記録を残すための機能があります。

○チーム代表：辻浦崇大
○チーム員：工藤卓也・京谷和明・河辺雅史・秋山大空・小笠原瑞奈・橋場保鷹

14 函館大 チーム 若松ゼミナール

統合報告の事例研究 — 新しい企業外部報告の可能性 —

企業の環境対策や社会貢献と経済活動の成果を合わせて報告をおこなう統合報告という新しい方法が注目されている。これについて、先進的な事例を検討し、その有効性を考察することとした。海外の事例が多いが、日本での可能性も考えてみた。

○チーム代表：澤田遼太
○チーム員：伊東和洋・扇谷亮・池垣友幸

3 未来大 チーム LSP (Location Services Project) team DRONE

飛行型ドローンによる新しいデジタルスポーツ

このプロジェクトでは、位置情報を利用して「人を活動的にさせるデジタルサービス」の実現を目指しています。そのために、飛行型ドローンを使って楽しむデジタルスポーツを提案し、プロトタイプ開発に取り組んでいます。

○チーム代表：笠井康平
○チーム員：武田郁弥・相沢遼平・秋山卓巳・梅澤章乃

6 未来大 チーム フィールドから創る地域・社会のための スウィフトなアプリ開発 観光系チーム

木古内観光をより楽しんでもらうアプリの開発

私たちはフィールドから創る地域・社会のためのスウィフトなアプリ開発をテーマとして、北海道上磯郡木古内町をフィールドに設定して活動をしています。ユーザを楽しませるというコンセプトのもと、観光情報の提供を基盤として開発を進めています。

○チーム代表：岩見建汰
○チーム員：池田俊輝・山川拓也・横山翔栄・細川棕太

9 未来大 チーム 高度 ICT 演習観光系 HakoEve 班

HakoEve ～イベントをもっと身近に～

HakoEve とは、函館市地域交流まちづくりセンター様と共同開発した、函館市近郊のイベント情報を簡単に検索できるアプリケーションです。ブース発表では、現在開発している iPhone アプリを一足先に体験できます。ぜひ見に来て下さい。

○チーム代表：花田洋貴
○チーム員：齋藤尊・柴田健介・新保遥平・川島奨大

12 未来大 チーム 高度 ICT 演習海洋系 - センサ & 礼文 -

ICT で作る新しい海のカタチ

私たちは 2 つのテーマに取り組んでいます。1 つ目のテーマはイカ漁業を支援するため、海水温を可視化し効率的に漁場探査できるシステムを構築しています。2 つ目のテーマは礼文島で漁師が減少している問題に対して、地元の方と協力して Web システムの開発を行っています。

○チーム代表：雲井尚人
○チーム員：長内一真・伊藤大輔・井上航次郎・黒川大智・高橋大輔・栗山健太

15 函館大 チーム アミュ・バス チーム

ぼくらの街づくり！ Amu Bus (アミュ・バス) ルートの提案

ぼくらの遊び場、買い物、ガッツリ食事。メガドン、ラウンドワン、山岡屋、カミダイ (イオン)、蔦屋書店などなど、みんな遠くでバスでも不便。車がないと行けないよ！そんな高校生・大学生の不満を解消する。ぼくらの街づくり！ Amu Bus (アミュ・バス) ルートの提案です。

○チーム代表：川道誠也
○チーム員：照井和樹・本市拓斗・関根幹仁

16

チーム

函館大

MARATHON*

2015 函館ハーフマラソン大会 出場者アンケート

2015 年 6 月 28 日開催された函館ハーフマラソン大会の出場者にアンケートを配布し、1,200 枚以上の回答を得ました。調査項目は回答者基本属性、マラソン大会の評価、前後の宿泊や観光等です。来年のフルマラソン大会に向けて様々な意見がありました。ぜひ見に来てください。

○チーム代表：久末梨奈
○チーム員：加我凌祐・木村明希・竹原滉太・西田里穂子・西山龍也・新田耕介・畠山翔・張厚裕也・岡田崇裕・藤原祥智・八河直樹

17

チーム

函館大

ビジネス企画研究室

“函館ジャガ”で地産地消グルメ開発！！

私たちのテーマは「地産地消グルメ」、函館で生産されたジャガイモを函館で消費するための新たなグルメを考案・開発しました。今回はその過程で試行錯誤して編み出した新感覚の函ジャガ料理を実際に“試食”して頂きます。そして、味覚も含めた五感をフル活用してその成果を発表します。

○チーム代表：手塚美穂
○チーム員：田上啓太・宮永優太郎・菅野直樹・長内宏人・田辺真悟・巽裕美・高森美聖・齊藤菜林・釜沼真希・宮嶋玲奈

18

チーム

北教大

地域政策演習所

函館の人口減少対策への新たな視点

現代では地方における人口減少が多く自治体で起きています。函館でも就きたい職業や行きたい教育機関がないため若者が市外へ流出して人口減少が起きると言われています。本当にそれが大きな要因であるのかということに疑問を持ち、新たな切り口を提案します。

○チーム代表：山口啓太
○チーム員：柏崎裕也・宮本優士・小野寺聖・飯法師由大・太田希・塩田ひより

19

チーム

北教大

イカ☆しちゃってる Boys

前略、イカのスマより

函館市の市の魚である『イカ』のイカ墨粒子をナノスケール観察することで、イカ墨の姿、大きさを見ることができます。また、イカ墨の有効利用法として色素増感太陽光電池があり、そこでイカ墨がどのような働きをしているのかを発表します。是非、イカ墨インクを使ったスタンプを押しに来て下さい！

○チーム代表：佐々木翔汰
○チーム員：鈴木拓・早福光一郎・川口大輝

20

チーム

北教大

ゼミ合宿で1週間岐阜にいました。

函館のユニバーサルツーリズム ーアクセスの視点からー

私たちのチームは全員ゼミ生！ゼミでは観光学を学んでいます。今回私たちが取り上げたテーマは「ユニバーサルツーリズム」。誰もが楽しむことができる観光とはどのようなものか、アクセスの視点から考えてみました。岐阜で深めた絆を活かして頑張ります。

○チーム代表：大山莉奈
○チーム員：白岡健志・古館葵・間山もえ・大久保美侑・星山大稀・黒沼聖史・本木優宏・青野朋晃

21

チーム

北教大

恋愛ファイターズ

小学校の性教育から 多様な性の在り方を考える

私たちは小学校で行われる性教育に着目し、そこで多様な性がどのように扱われているかを研究しています。そして、今後性教育でどのように多様な性を扱っていくかの展望を提案していきたいと思っています。プース発表となっておりますので、ぜひ足を運んでみてください。

○チーム代表：小田原巴
○チーム員：廣吉由莉・大野加奈・高橋初菜・岡本大知・大嶋周・辰口葉名子・柴田真優

22

チーム

北教大

木村ゼミ セクシュアルメディア班

女の子向けアニメから見る女性の描かれ方の変化 ～セーラームーンとプリキュアとの比較から～

本研究では美少女戦士ものというジャンルを確立したアニメーションである『美少女戦士セーラームーン』と、その系統を引き継ぐ『プリキュア』を比較します。作り手が子どもに対してどのようなメッセージを発しているのかを探るために、この二つの作品に注目しました。

○チーム代表：簾内光
○チーム員：安中くるみ・齋藤広大・高橋初菜・岡本大知・大嶋周・辰口葉名子・柴田真優

23

チーム

北教大

日本語教育ゼミナール A

日本語学習資源としての アニメーション映画の可能性

私はアニメーション映画の日本語学習者への学習資源としての可能性を見出すことを目的に、連作短編アニメーション「秒速5センチメートル」のスク립ト分析をしています。本プースを通して、日本語教育の魅力、アニメ文化の言語素材としての価値を知っていただけると幸いです。

○チーム代表：佐藤貴利
○チーム員：佐藤ちづる・島軒優・鈴木萌未・桃井志織

24

チーム

北教大

日本語教育ゼミナール B

チャットの開始部と終結部 ー日本語母語場面と接触場面を比較してー

近年、「L I N E」などのチャット利用者が世界的に増加しており、異文化間での利用もさらに増えていくと考えられます。そこで私はチャットにおける会話の開始部と終結部に焦点を当てて分析を行い、異文化間での円滑なコミュニケーションに向けた示唆を行います。

○チーム代表：佐藤ちづる
○チーム員：佐藤貴利・島軒優・鈴木萌未・桃井志織

25

チーム

北教大

日本語教育ゼミナール C

日本語学習者の ゼロ代名詞の使用頻度について

ゼロ代名詞とは省略の形態の一種です。日本語学習者が日本語で会話をする際のゼロ代名詞の使用頻度にはどのような形態があるのかを調査しています。本調査では、学習者が使用してきた教科書や日本語母語話者の使用頻度との相違点に着目しています。プースにもぜひお越しください。

○チーム代表：島軒優
○チーム員：佐藤貴利・佐藤ちづる・鈴木萌未・桃井志織

26

チーム

北教大

日本語教育ゼミナール D

日本語学習者の 漢字に対する母語話者評価について

日本語学習者の漢字学習をより効率的にできる方法を提示するために、日本語学習者が書く漢字を日本語母語話者がどんな観点で評価するのかを調査しています。また、日本語母語話者は、母語話者と学習者の書く漢字の評価を区別しているのかどうかも調査します。

○チーム代表：鈴木萌未
○チーム員：佐藤貴利・佐藤ちづる・島軒優・桃井志織

27

チーム

北教大

日本語教育ゼミナール E

フィリピン中等教育機関向け教材 『enTree-Halina! Be a NIHONGOJIN!!』の評価ツールで 自律学習力の確立ができるのか

フィリピン中等教育機関で使用されている教科書『enTree-Halina! Be a NIHONGOJIN!!』の評価ツールについての研究をしています。学習者が自己の学習を適切に振り返り、自己の学習に対する気づきを促す評価ツールについて紹介し、その有効性を探ります。

○チーム代表：桃井志織
○チーム員：佐藤貴利・佐藤ちづる・島軒優・鈴木萌未

28

チーム

北教大

チーム言語

授受表現の日英比較 ～視点制約の観点から～

日本語と英語における授受表現の対応関係について研究しています。日本映画の中から授受動詞を含む日本語のセリフとそれに対応する英語字幕を抜きだし、視点制約の観点から分析します。今回は補助動詞「てあげる／てくれる／てもらう」を取り上げます。

○チーム代表：山下紗由香

29

チーム

北教大

国際協力プロジェクト

フィリピンの現状と日本の関わり

私たちはフィリピンでの国際協力実習にて、アジア開発銀行、国家経済開発庁、JICA、JETROから、フィリピンで活躍する日系企業、草の根レベルで活動する NGO 団体まで幅広く訪問し、フィリピンの現状を学びました。様々な角度から見たフィリピンが抱える問題や日本との関係について発表します。

○チーム代表：伊賀彩花
○チーム員：前田有里奈・川嶋悠水・沼館佳奈実・猪股一樹・佐々木詩織・増尾綾菜・中里瑞穂・斎藤加奈子・越前文琴・橋本旺久・星野七重・篠田菜実枝・小野亜里沙

30

チーム

北大水

Strobilation

クラゲ大発生メカニズムを探る

数年前に大発生したエチゼンクラゲ。最近ではめっきり聞かなくなりましたが、他にも近年、大発生により漁業被害を与えるクラゲがいるのをご存知ですか？私たちは、このクラゲ増殖のメカニズムに遺伝子から迫ろうとしています。今日は、研究室からクラゲたちも連れてきました！この機会にじっくりと観察してみませんか？

○チーム代表：石丸詩織
○チーム員：長塚康大・波多野淳治・服部一輝

31

チーム

北大水

北水 F-tech1

海の宝を探し出せ！ ーダルスの健康機能ー

私たちは、紅藻ダルスの健康機能性について研究を行っています。ダルスは函館沿岸に豊富に存在しますが、多くは未利用であり廃棄されています。私たちは、ダルスに血圧や血糖値の上昇を抑える作用、老化を防ぐ作用を見出しました。そこでダルスの健康機能性と産業上の利用について紹介いたします。

○チーム代表：佐藤直登
○チーム員：北出裕実

32

チーム

北大水

北水 F-tech2

海の宝を探し出せ！ ーホタテとウニの健康機能ー

私たちは、北海道の代表的な水産物であるホタテガイとウニの生殖巣に含まれるタンパク質の健康機能性に着目して研究しています。その研究の結果、それらのタンパク質およびタンパク質を分解して作ったペプチドに、血糖の上昇を抑える作用や血圧上昇に関わる酵素を阻害する作用が見いだされました。

○チーム代表：高木太一
○チーム員：塩澤佳奈子

33

チーム

北大水

北海道大学鯨類研究会

津軽海峡でくじらについて学ぼう！

北海道大学鯨類研究会は津軽海峡フェリーの協力により通年に渡り津軽海峡で鯨類の目視調査を行っています。その調査から得られたことや鯨類についての簡単な知識を、津軽海峡フェリーに乗った修学旅行生や一般乗船客を対象に、ワークショップという形で伝えています。その内容や活動成果を発表します。

○チーム代表：前田彩貴
○チーム員：高増厚司・岩田香澄・細木拓也

34

チーム

北大水

微生物工場北海道函館支部

微生物の中の工場ライン見学

人が工場ラインで自動車などをつくるように、微生物にも製造ラインがあることを知っていますか？微生物は酵素と呼ばれる製造ラインを使って様々な有機化合物を組み立てています。今回は特に医薬品製造の仕組みを見学していただき、また、ヒトがそれを利用するための方法を紹介しましょう！

○チーム代表：井高洋輔
○チーム員：新井圭美・北野雅也・仙北晃久・中島朗

35

チーム

北大水

化学工学・固液界面吸着チーム

簡単！糖吸着

乳清などの含糖水溶液はそのまま排出すると環境負荷が大きく、環境負荷軽減や資源の有効活用の観点から溶存糖の分離回収は重要です。私たちは市販の陰イオン交換樹脂を糖の吸着分離に用いる際、ホウ酸の添加によって糖の回収および樹脂の再利用が可能となることを見出したので発表します。

○チーム代表：佐藤良祐

36

チーム

北大水

化学工学・気液界面吸着チーム

低コストな分離方法

私たちは泡沫分離という分離技術を用いて溶液からタンパク質を分離する研究を行っています。泡沫分離法は気泡を発生させ、その気泡の表面にタンパク質が吸着し分離を行います。ランニングコストは低く、操作も簡単です。このような分離技術を紹介しますので、ぜひ私たちのブースにお越しください！

○チーム代表：松原直啓
○チーム員：松原僚

37

チーム

北大水

化学工学・飼料開発チーム

水産廃棄物の飼料化に向けた技術開発

イカやホタテガイの内臓は栄養価が高く、養殖飼料として大きな可能性を秘めています！しかし、有害なカドミウムが含まれているため飼料にできず、廃棄しているのが現状です。そこで私たちは、これらの水産廃棄物からカドミウムを除去する技術の開発について研究しています。

○チーム代表：杉崎篤

38

チーム

北大水

化学工学・吸着剤探索チーム

生物素材による有害金属の吸着除去

タマネギの外皮を捨てた？岸壁に付いた海藻（アオサ）は役に立たない？これらに隠された能力をご存知でしょうか？今回、タマネギの外皮とアオサによる有害金属（カドミウムと鉛）の除去に関する研究を紹介します。みんな、ぜひ来てね！有毒金属を除去できる材料と一緒に探しましょう！

○チーム代表：宋希楽

39

チーム

北大水

化学工学・ヨウ素低減コンブ開発チーム

昆布のヨウ素低減技術の開発について

ヨウ素は不足でも過剰でも甲状腺機能に障害を引き起こします。海藻はヨウ素を多く含む食品ですが、特に昆布は含有量が高く、乾燥昆布 1g 程度で耐容上限量に達します。残念ながら、海藻のヨウ素低減技術は開発されていません。今回は、私たちが開発したヨウ素低減技術を紹介します。

○チーム代表：孫曉望

40

チーム

北大水

化学工学・凝集磁気分離

大豆タンパク質を使った環境浄化

アオコとは夏の大沼などで見られる大量発生した植物プランクトンであり、悪臭や水生生物の死滅など様々な悪影響を及ぼします。そこで私たちの研究室が開発した、大豆から作った環境にやさしい凝集剤を使いアオコを除去する研究について紹介します。

○チーム代表：田路桂悟

41

チーム

大谷短

チーム伊藤研究室

どこでも手軽に POS レジ

お金をかけずに、Excel をつかって POS レジを作ります。学園祭や地域のフリマ、小さいお店などですぐに使えて、もちろん集計・分析も可能です。

○チーム代表：池田光慶
○チーム員：池田裕紀・本間みさ子・入江清香・高橋達・西村尊子・日計美紗・上野俊輝・鎌田夏実

42

チーム

大谷短

コミュニケーションゼミ

高齢者世代との交流体験プログラムに関する一考察

少子高齢社会の中、高齢者に関わる機会が増しているが、高齢者との関わりが少ないことが、高齢者とのコミュニケーションが苦手な要因だと考えられる。そこで、本学科では、1 年次に高齢者世代との交流を体感させる介護等体験を実施している。今回はこの体験プログラムについて報告いたします。

○チーム代表：九鬼崇人
○チーム員：菊田亜美・佐藤勇輝・對馬美帆・濱口大和・松宮子龍・山形ひとみ

43

チーム

大谷短

教育情報サークル

"HOPE の活用に対する短大生の評価
～保育士科目でのブレンディッドラーニングの体験から～"

皆さんは HOPE を使ったことがありますか？HOPE は、市内の学生なら誰もが利用できる e ラーニングサイトです。私たちは、保育士科目で HOPE でのオンライン授業も組合わせたブレンディッドラーニングを体験しました。この体験から、短大生はHOPEをどう評価したか…。興味深くありませんか？

○チーム代表：平原美南
○チーム員：田中桃子・戸根ひとみ・石垣悠・平野あすか・堀田恵子・田中麻衣子・宮本玲実・山内絵美莉・佐藤麻子

44

チーム

大谷短

基礎体力向上サークル

幼児の体力についての検討
～函館と全国平均値との比較～

現代の子どもたちは体力が低下していると言われてます。函館の子どもたちの体力低下を食い止めるために、私たちは、幼児の体力測定を行いました。全国平均値に比べ函館の子どもたちの体力はどうなっているのか。子どもたちの問題を一緒に考えていきたいと思います。

○チーム代表：三浦麻姫
○チーム員：西本光里・鎌田龍平・小坂卓弥・清水雅斗・尾山優太

45

チーム

大谷短

ビジネス鄭ゼミ

函館市の観光と地域活性化に向けた新たな提案
ー 函館山ロープウェイを中心として ー

私たちは函館の観光の中心となる函館山ロープウェイのケースを取り上げ、日本語、英語、台湾語、中国語、韓国語による観光客の満足度など実態調査を行いました。このアンケート結果を分析し、函館市の観光と地域活性化に向けた新たな提案を行いますので、ぜひお越しください。

○チーム代表：塩谷未来
○チーム員：佐々木崇・塚田咲良・上田早耶・浜野継大

46

チーム

函短大

チーム Savior

野外調理に潜む危険性
～食材の調理・管理方法を中心として～

私たちは食を通じて人の健康増進のために活躍できる人間性と、ライフスタイルに応じた質の高い栄養指導等ができる確かな専門性を身に付けるため勉学に励んでいます。ブース発表では野外調理に潜む危険性を明らかにし、その予防対策を示すことを目的とします。是非私たちのブースにお越しください。

○チーム代表：尾上雅樹
○チーム員：本間愛理・太田朱音・佐藤雛・健名美紅・川畑文乃・新谷具士・折登未来

47

チーム

函短大

BOSS

保育所・幼稚園における
外国人園児への支援について

私たちは、外国人園児と保育者の関わりをテーマに研究を行いました。特に、保育者の英語力や早期英語教育についての意識調査を行ったり、外国人園児に対して幼稚園や保育所でどのような配慮がなされているのか、また、各自治体の支援についても調査を行いました。

○チーム代表：武山綾香
○チーム員：八田明子

48

チーム

函高専

GIS 研究室

観光防災としての
津波・避難シミュレーション

多数の観光客が訪れる函館市西部地区を対象として津波シミュレーションを実施し、その結果から得られる対象地区への浸水過程と観光客の避難行動に着目したマルチエージェントモデルによる津波避難シミュレーションについて研究を行っています。

○チーム代表：川村怜音
○チーム員：柳原僚介

49

チーム

函高専

Maruyama Lab. in 函館高専

ワイヤレス電力伝送による
氷雪上 EV 走行実験

近年、ワイヤレス電力伝送を用いた電気自動車（EV）の走行中自動給電が検討されています。Maruyama Lab. では、これを氷雪道路において実現するための研究を行っています。ブース発表ではミニチュア模型を用いて氷雪上 EV 走行中自動給電のデモを行いますのでぜひお越しください。

○チーム代表：古田健太
○チーム員：高橋航・宇野広祐・遠藤俊・布川和樹・檀山伶史・舟橋孝人

50

チーム

函高専

チーム花酵母

函館の地酒用の花酵母の探索 Part2

日本酒醸造能力を持つ「菜の花酵母」の発見と日本酒「函館奉行」の醸造・商品化にこぎつけた私たちが、第 2 弾の花酵母で酒造りにチャレンジしています！キーワードは、新幹線が青函圏を結ぶことにちなんで、青函共通のキーワードである「りんご」の花酵母です。

○チーム代表：寺崎ありさ
○チーム員：杉本紬・中野美優

51

チーム

函高専

防災害ネットワークプロジェクト

PBL を活用した
耐災害ネットワークの社会実装

大規模災害時、既存のネットワークが使用できない状況で迅速な被災情報の収集と救助活動が行えることを目指し、防災害システム（NICT が開発）の社会実装を進めている。本システムでは、対策本部と避難所等無線メッシュネットワークで接続し、Web サーバによって安否情報や被災情報の収集・配信を行う。

○チーム代表：橋本敦弘
○チーム員：北川貴博

52 チーム
極東大 ROWA スタディオ

ロシア語ビデオ教材作製にチャレンジ！

ロシア語を学習する人を対象とした日本人向けのビデオ教材を作成しました。テレビで放送されているものよりも、若者に分かりやすいものを目指し、函館ならではのロシア語教材にしました。皆さんと一緒にロシア語を学びましょう！

- チーム代表：村田賢汰
○チーム員：宮田絵梨香・安下明梨・大平桃子・兵士士門・齋藤航・福島佳苗・倉持陽・國立翔

53 チーム
極東大 Попутчики (パプーチキ)

ロシア・よろしあ

この夏、約 1 週間のモスクワとサンクトペテルブルグでの企業インターンシップに参加した 4 名が中心となって、現地で体験した様々な出来事をお伝えします。多くの日本人にとってロシアはいまだにミステリアスな国。2015 年夏のロシアを直接感じてください。

- チーム代表：奥山茜
○チーム員：高橋由・宮川佑介・吉井崇倫・小川怜・玉城花菜・鳥羽諒光

54 チーム
特別参加 函館西高校 理科部

樹皮上のトビムシの生活史と季節変化

函館山の麓をフィールドとして、土壌生物の調査と環境との関わり合いについて研究をはじめて 6 年目となります。ことしは、函館山に生育する樹木にいるトビムシの生活史とその季節変化について、1 年間の調査の結果を発表します。

- チーム代表：岩城一真
○チーム員：岩城一真・阿部光・一戸涼史・佐藤昌輝・谷藤蓮樹・岩井健悟・川原優人・定免大貴・篠塚響

55 チーム
特別参加 函館大学付属柏稜高等学校 理科研究部

Hakuryo method を用いたビタミン B2 の定量 — ヨーグルトホエイの測定 —

柏稜高校理科研究部は、オリジナル定量法「Hakuryo method」を用いたビタミン B2 の定量を進めています。本研究ではヨーグルトホエイにおける定量に挑戦し、LC-MS で得られた結果と比較することで「Hakuryo method」の評価も同時にいきました。

- チーム代表：林宏峻
○チーム員：赤坂智弥

56 チーム
特別参加 北海道大野農業高等学校 中小家畜班

省資源循環型養豚経営への挑戦

TPP の大筋合意や輸入飼料の価格高騰など、日本の畜産業は大きな課題を抱えています。そこで、私たちは道南地域から発生している食品副産物を有効活用して豚の飼料を作り、低コスト・高品質な豚肉生産に挑戦しています。これまでの研究成果などを発表しますので、ぜひ見に来てください。

- チーム代表：内藤慎
○チーム員：鈴木涼太・平館翔・福原零士

57 チーム
特別参加 遺愛女子高等学校・地学部

大森浜の海岸浸食と砂の堆積 10 — イカ看板再び現る！ —

大森浜では波による浸食と堆積が繰り返されています。昨年は砂が堆積し沖合に Sand Bar を発見しましたが、12 月の高潮以降浸食が進み、2011 年に倒れて以来砂に埋まっていた看板が再び現れました。海面上昇は砂浜を消滅させます。Help 大森浜！

- チーム代表：花田愛海
○チーム員：目谷妃香莉

58 チーム
特別参加 遺愛女子高等学校・地学部

「ひかりのまち・函館」の夜空の明るさを調べる 9

2011 年から愛知県立一宮高校のプロジェクトに参加して函館の夜空の明るさを調べてきました。その成果の一部からこの夏「星空マップ」を作って配布しました。夜景のまちでもほんの少しライトダウンすれば天の川が近くなります。星空を見たい人におすすめです。

- チーム代表：岡田結衣
○チーム員：川口珠実

59 チーム
特別参加 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
いしてまい

“いしてまい”な人とのつながりを！

わたしたちは青森県弘前市で学生が主体となり、より良い学生生活を送れるよう、街づくりをしている団体です。今年度は活動内容を一新！「つながり」をテーマに学生のみに留まらず、地域との交流も大切にします。“いしてまい”って何？と思ったあなた！わんどのブースに来ればわかるはんで～

- チーム代表：種市一貴
○チーム員：中村真由子

60 チーム
特別参加 青森公立大学 青森まちなかしかへらあゑ

青森の中心市街地街づくりとの連携活動について

青森市の中心市街地で街づくりへ参画しています。普段は清掃活動を行い、街の美化に努めながら、ねぶた祭り期間には観光案内を行ったり、季節を問わずに行われる中心市街地のイベント支援を行っています。普段は郊外の大学に通っていますが、このサークル活動を通して地域に携わろうと頑張っています！

- チーム代表：田中知佳
○チーム員：夏坂里帆・菅原和・附柳里佳・岩崎聖子

スタンプラリーも
お楽しみください！
(記念品進呈)

HAKODATE アカデミックリンクとは？

函館市内 8 高等教育機関の学生が一堂に会し、普段研究している内容や成果などをポスター展示や実演などによって発表し合う合同研究発表会です。会場では、学生とのコミュニケーションも楽しめます。最先端の研究や地域課題へのアプローチなど、函館の学生たちの取り組みをぜひ見に来てください。

アカデミックリンクの開催にあたり各企業の皆様からご協賛を賜りました。ありがとうございました。
(株) ニューメディア NCV 函館センター / (株) コジマ店装 / (株) 石田文具 / (有) 三和印刷
五稜郭タワー (株) (敬称略・順不同)



ステージセッション 参加チーム

ステージでの発表

10分間の持ち時間で繰り上げられる
ステージでのプレゼンテーションです。

1

共同研究

未来大・北教大 合同チーム
Wataridori Project・ゲーム・デ・エデュケーション

大学生による国際協力と研究開発について

アフリカのウガンダで、教育を満足に受けてない女性や子供たちのための自立支援や IT によるコンテンツ開発を行いました。滞在中の体験談と研究開発の成果について発表します。ぜひお越しください。

○チーム代表：岡崎航
○チーム員：西谷謙吾・岩井克之・奥山りょう・園田康記・沼山しょう

2

函館大

チーム
ビジネス企画研究室

“函館ジャガ”で地産地消グルメ開発!!

私たちのテーマは「地産地消グルメ」、函館で生産されたジャガイモを函館で消費するための新たなグルメを考案・開発しました。今回はその過程で試行錯誤して編み出した新感覚の函ジャガ料理を実際に“試食”して頂きます。そして、味覚も含めた五感をフル活用してその成果を発表します。

○チーム代表：手塚美穂
○チーム員：田上啓太・宮永優太郎・菅野直樹・長内宏人・田辺真悟・巽裕美・高森美聖・齊藤菜林・釜淵真希・宮崎玲奈

3

北教大

チーム
木村ゼミ セクシュアルメディア班

女の子向けアニメから見る女性の描かれ方の変化 ～セーラームーンとプリキュアとの比較から～

本研究では美少女戦士ものというジャンルを確立したアニメーションである『美少女戦士セーラームーン』と、その系統を引き継ぐ『プリキュア』を比較します。作り手が子どもに対してどのようなメッセージを発しているのかを探るために、この二つの作品に注目しました。

○チーム代表：簾内光
○チーム員：安中くるみ・齋藤広大・高橋初菜・岡本大知・大嶋周・辰口葉名子・柴田真優

4

北大水

チーム
化学工学・飼料開発チーム

水産廃棄物の飼料化に向けた技術開発

イカやホタテガイの内臓は栄養価が高く、養殖飼料として大きな可能性を秘めています！しかし、有害なカドミウムが含まれているため飼料にできず、廃棄しているのが現状です。そこで私たちは、これらの水産廃棄物からカドミウムを除去する技術の開発について研究しています。

○チーム代表：杉崎篤

5

大谷短

チーム
ビジネス鄭ゼミ

函館市の観光と地域活性化に向けた新たな提案 ー函館山ロープウェイを中心としてー

私たちは函館の観光の中心となる函館山ロープウェイのケースを取り上げ、日本語、英語、台湾語、中国語、韓国語による観光客の満足度など実態調査を行いました。このアンケート結果を分析し、函館市の観光と地域活性化に向けた新たな提案を行いますので、ぜひお越しください。

○チーム代表：塩谷未来
○チーム員：佐々木崇・塚田咲良・上田早耶・浜野継大

6

函短大

チーム
「はこしょつ」

食物栄養学科学生の食生活に対する意識と実際

栄養学を学ぶ私たちは、[健康日本 21]での若者の偏った食生活や無理なダイエット、さらに欠食や外食率の上昇、インスタント食品の過剰利用等の問題を知りました。そこで本学学生の食の意識をまとめ、問題となる起因は何かを探りたいと思っています。ここでは若者の食の現状を報告します。

○チーム代表：広瀬由里子
○チーム員：成田智美・西原汐音・羽賀友稀・浜田夏那・林田千秋・藤谷風輔・柊森俊文

7

函高专

チーム
訪問介護用洗髪器の開発チーム

訪問介護用洗髪器の開発

介護支援機器の中で日常生活の自立支援に着目し訪問介護・訪問美容、病院など様々な場面での洗髪を想定した「訪問介護用洗髪機器の開発」をテーマとした。現在市場にある洗髪機器と過去15年間の特許出願を調査し、その中の「ベスト・オブ・ベスト」を上回る性能を目指した機器である。

○チーム代表：田口大貴
○チーム員：小入羽駿・新山義直

8

極東大

チーム
В народ (ヴ・ナロード)

海外で就職するならば～ロシア編～

私たちはこの夏企業インターンシップでモスクワとサンクトペテルブルグを訪れました。現在の日本の学生は内向き思考、安定志向と社会やマスコミで話題となっています。そこで実際に、海外の日本企業に勤める日本人や現地の外国人がどのように働いているかを発表します。

○チーム代表：吉井崇倫
○チーム員：奥山茜

スタンプラリー
実施中

ブースを訪ねてスタンプを集めよう！
5つ以上のスタンプで記念品進呈

多彩な研究テーマが揃った60の展示ブース。興味のあることやわからないことがあったら、どんどん質問をぶつけてみましょう。展示を見て、興味深かった、面白かったと思うブースがあったら、下欄にスタンプを押してもらってください。5つ以上のブースを回りスタンプを集めたら、受付で記念品を差し上げます。

1	2	3	4	5	6 ～
---	---	---	---	---	-----